

第 III 部：補論

補論：今後の「日本人の働き方調査」のための予備的検討

「日本人の働き方調査」は労働政策研究・研修機構が今後も継続的に実施する予定である。本章では、調査研究報告書としてはやや異例かもしれないが、補論として次回以降の調査の改善策を検討する。わざわざこうした章を設けたのには二つの理由がある。

一つは、2005年の国勢調査が象徴するように調査環境、特に訪問調査を実施する環境が急速に悪化——回収率の低下、回答者の反発、調査会社への不信感の増大など——しており、「日本人の働き方調査」が目指す代表性の高い調査を実施するには、調査法の改善に相当の努力を払うことが必要なためである。

もう一つの理由は、調査票設計にあたり研究会メンバーが何度も入念に検討を重ねたにもかかわらず、実際に分析を行ってみると、得られたデータが分析に使いづらかったり情報が足りなかったりと調査票を改善すべき点がみつかったためである。

こうした検討を記録として残すことは、この調査の実施者、データの利用者にとってはもちろん、他に調査を実施しようとする人にとっても役に立つものだと思う。

以下、今後の改善策について、調査法と質問内容に分けて検討する。

調査法については、まず、今回調査のカヴァレッジ（母集団と比較した回答者集団の特徴）を、性・年齢、就業形態、職業を基準として観察し、そこから今回の調査の代表性を吟味する。続いて、調査票の「意見・感想」欄に記入された回答者の意見を分析する。その後、カヴァレッジの問題点と回答者の意見・感想を踏まえて、調査法の改善策を検討する。

続いて、質問内容について、分析途中で各メンバーが気づいた点、調査票の「意見・感想」欄の記入内容及び各質問の無回答率を踏まえて、今回の調査票設計上の問題点を把握し、改善策を提案できるものについては提案して、次回以降の参考とする。

1. 今回調査のカヴァレッジについて

1.1 今回調査のカヴァレッジ

今回の調査の対象者は、住民基本台帳又は選挙人名簿から層化2段系統抽出法により全国の男女8,000人を抽出した。したがって、標本は国民全体をほぼ代表するものとみなすことができる。また、有効回収数は4,949票、有効回収率は61.7%であり、近年の訪問調査の実施状況からみて標準的な水準といえる。しかし、代表性という点からみると——代表性を担保するために必要な回収率の水準については議論のあるところだが——6割という水準が十分に高いとはいえない。6割程度の回収率では無回答誤差¹が生じているおそれがあることから、性、年齢、就業状態、職業の4つの属性を基準にして今回調査回答者を総務省「労働力

¹ 無回答誤差については、労働政策研究・研修機構『インターネット調査は社会調査に利用できるか』（労働政策研究報告書No.17）p70-参照。<http://www.jil.go.jp/institute/reports/2005/017.html>

調査」と比較し、調査のカヴァレッジを検証する。

(1) 性、年齢

今回の調査の性・年代別の回答率は計測していないが、労働力調査で把握されている国民の性・年齢構成と今回調査回答者の性・年齢構成の差異は、おおむね性・年齢ごとの無回答率の差を反映したものと考えられる。

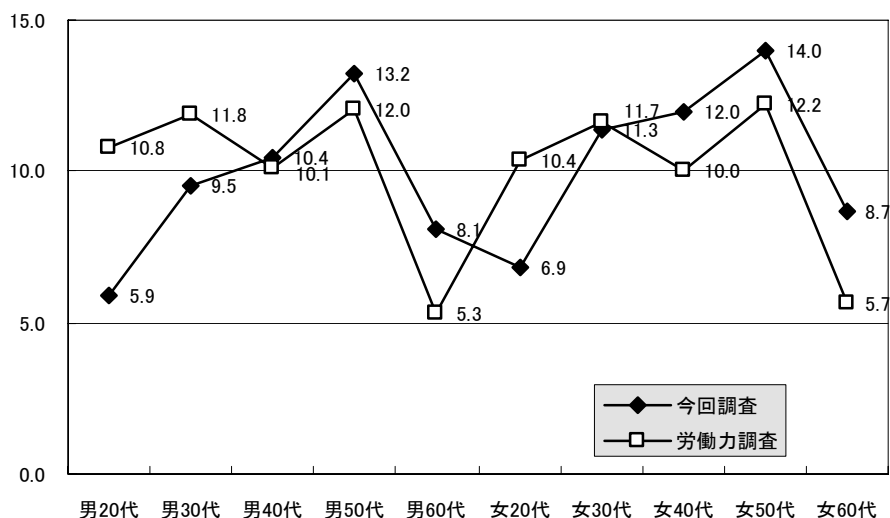
労働力調査と比較して今回調査で構成比率が低いのは、男女の20代、男性30代、逆に高いのは男女の60代である。訪問調査では若い世代の回答が得にくいのは他の調査でも見られる傾向である。

このように性・年齢によってカヴァレッジが不均一なことから生ずる問題点が二つある。

一つは、集計結果の年齢構成を議論する際には、調査回答者集団の年齢構成が国民という母集団からややずれていることを意識しておく必要があるという点である。全回答者の集計結果を国民全体の状況とみなした場合、若年層の状況を過小に、高齢層の影響を過大に反映しているおそれがあることに注意すべきである。

もう一つは、特にカヴァレッジの低い若い年代では、当該年代の集団全体に対する回答者の代表性が他の年代と比べて低いという点である。性・年代別に回収率を推定すると、20代では男性が34%、女性が41%と全体の回収率61.7%を大幅に下回る。このため、20代の回答者は国民の中の20代全体と異なる意識や特徴をもっている可能性があるため、調査結果の解釈の際にはそのことも念頭におく必要がある。

図表Ⅲ-補-1 「労働力調査」(平成16年平均)と今回調査回答者の年齢構成の比較(単位:%)



(注) 今回調査の調査対象者: 満20歳~65歳
労働力調査: 20~64歳人口

図表Ⅲ-補-2 性・年代別回答率（推定）

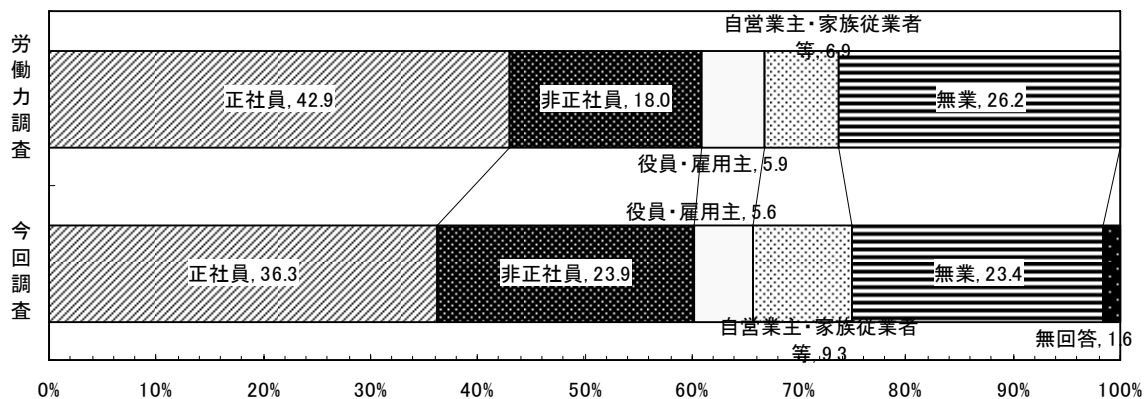
	A今回調査の標本サイズ 【推定】(人)	B今回調査の回答者数 【実数】(人)	性・年代別回答率 【推定】(B/A)(%)
男 20代	865	293	34
男 30代	948	469	49
男 40代	807	515	64
男 50代	961	654	68
男 60代	425	401	94
女 20代	830	339	41
女 30代	933	560	60
女 40代	801	591	74
女 50代	978	689	70
女 60代	453	428	95
性・年齢計	8000	4939	62

(注) 今回調査の標本の年齢構成が労働力調査(平成16年平均)の20～64歳人口の年齢構成と同一だったと仮定して、性・年代別の標本サイズと回答率を計算したものである。

(2) 就業形態、職業

性、年齢と同様に、就業形態と職業について今回調査回答者と労働力調査を比較してみよう。就業形態については、今回調査の回答者は、労働力調査に比べて正社員が少なく非正社員が多い。また、自営業者・家族従業者がやや多く、無業者がやや少ない。職業については、今回調査の回答者は、労働力調査に比べて管理職、サービス職が多く技能・労務職が少ない。先に見たような年齢構成の違いが就業形態や職業の構成比にも影響を与えているものと思われるが、それ以外の要因については明らかではない。

図表Ⅲ-補-3 「労働力調査」(平成16年平均)と今回調査回答者の就業形態の比較(単位:%)



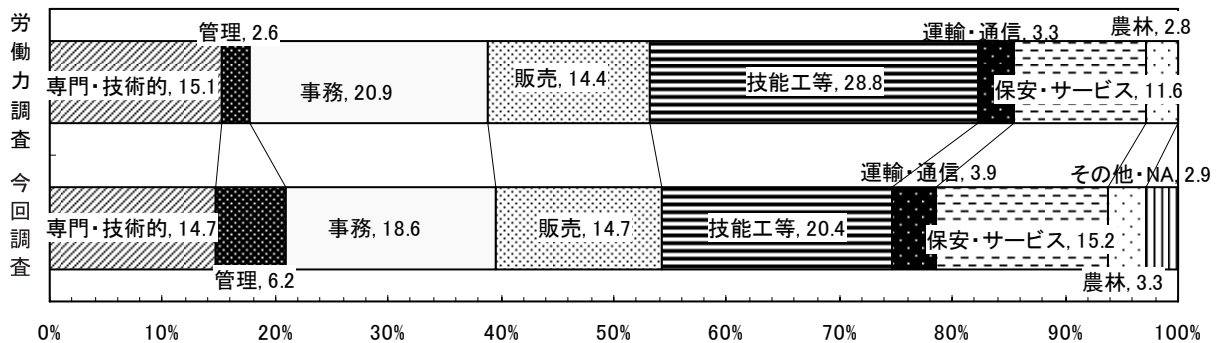
(注1) 今回調査の調査対象者:満20歳～65歳
労働力調査:20～64歳人口

(注2) 労働力調査の就業形態については下記のとおり分類した。
「自営業主(雇い人あり)」+「役員」→役員・雇用主
「自営業主(雇い人なし)」+「内職者」+「家族従業者」→自営業主、家族従業者等
「完全失業者」+「非労働力人口」→無業

(注3) 労働力調査(20～64歳人口):N=7,754万人
今回調査(全回答者):N=4,939人

(資料出所) 労働政策研究・研修機構『就業形態の多様化の中での日本人の働き方—日本人の働き方調査(第1回)—』(JILPT調査シリーズNo.15)2006年3月に掲載の表の一部をグラフ化。

図表Ⅲ-補-4 「労働力調査」(平成16年平均)と今回調査回答者の職業の比較(単位:%)



- (注1) 今回調査:今回調査回答者(満20歳~65歳)の中の就業者
労働力調査:64歳以下の就業者
- (注2) 労働力調査の職業については下記のとおりに分類した。
「製造・製作・機械運転及び建設作業者」+「採掘作業者」+「労務作業者」:技能工等
- (注3) 労働力調査(64歳以下就業者):N=5,829万人
今回調査(就業者):N=3,783人
(資料出所) 図表Ⅲ-補-3と同じ。

2. 調査票「意見・感想」欄の分析

今回、調査票の末尾に「この調査についてのご意見、ご感想などございましたら、今後の参考とさせていただきますので、どうぞご自由にお書きください。」として記入欄を設けたところ、有効回収数4,939票のうち約7%にあたる342票に何らかの記入があった。調査に対して肯定的な感想も少なからずあったものの、大半は調査の方法や内容に対する反発であった。

記入内容により分類すると下記のようなになる。分類ごとの記入者数をみると「質問や選択肢が不適切、わかりにくい、答えにくい」がもっとも多く、次いで「対象者の選出・依頼方法等に不信・不満」が多い(図表Ⅲ-補-5、付属資料1)。

その中には、政府や調査実施主体、現行政策への不満など調査担当者としては対応のしようがないものもあるが、調査票の回収方法に対する具体的な要望や、調査対象者の選定方法についての疑問など対応可能なものも多い。そういったものについては、次節で改善策を検討する。

また、回答者から示された意見の中には、「非常にめんどろだった」「二度とやりたくない」といったように調査の対象にされることじたいへの強い拒否反応を示す声も予想以上に多かった。ここに示された不満や不平は、まがりなりにもひととおり回答してくれた方のものであることを考えると、回答を拒否された方たちにはあってはより多くの方が同様の気持ちを抱いたのだろうと思われる。調査へのこのような嫌悪感に対して即効性のある対策は考えつかないが、まずは、多くの方の無償の善意による協力で調査が成立しているという事実をあらためて認識しなければならない。そのうえで、対象者の気持ちになって調査を準備する、得られたデータは一回きりの分析で使い終わるのではなくデータアーカイブに寄託して最大限

有効に活用するといった地道な努力を続け、これ以上の調査環境の悪化を少しでも防ぐことが必要だろう。

〔意見・感想欄の記入内容と記入例〕

① 調査内容に関するもの

- ▶ 質問や選択肢が不適切，わかりにくい，答えにくい
 - ・私は完全な主婦。主人は現在退職。地代，家賃などで暮らしており，この調査の対象者としてはお役に立てなかったようでございます。もうしわけありませんでした。
- ▶ 量が多い，時間がかかる
 - ・質問が多すぎてとてもつかれました。前の半分はわかりにくく，うまくかけてるかわかりません
- ▶ 質問内容がプライバシー侵害
 - ・この調査上で，収入，預貯金までアンケートに答える必要は無い！アンケートをとること事態プライバシーに関する事失礼である。調査内容の趣旨が違うと思う。この内容は検討すべきである。
- ▶ 問 C18-5（国民の負担と社会保障・福祉水準間の選好についての質問）
 - ・問 C-18 (5) この質問のための調査だったのかという気がして，がっくりとしました。こたえの A，B は両方とも自分の考えには当てはまらず，選べませんでした。公務員を優遇するあまり税金が足りなくなって，増税すると言うのはおかしいです。ここの無駄遣いをなくせば増税しなくても社会保障や福祉の水準は下がらないと思います

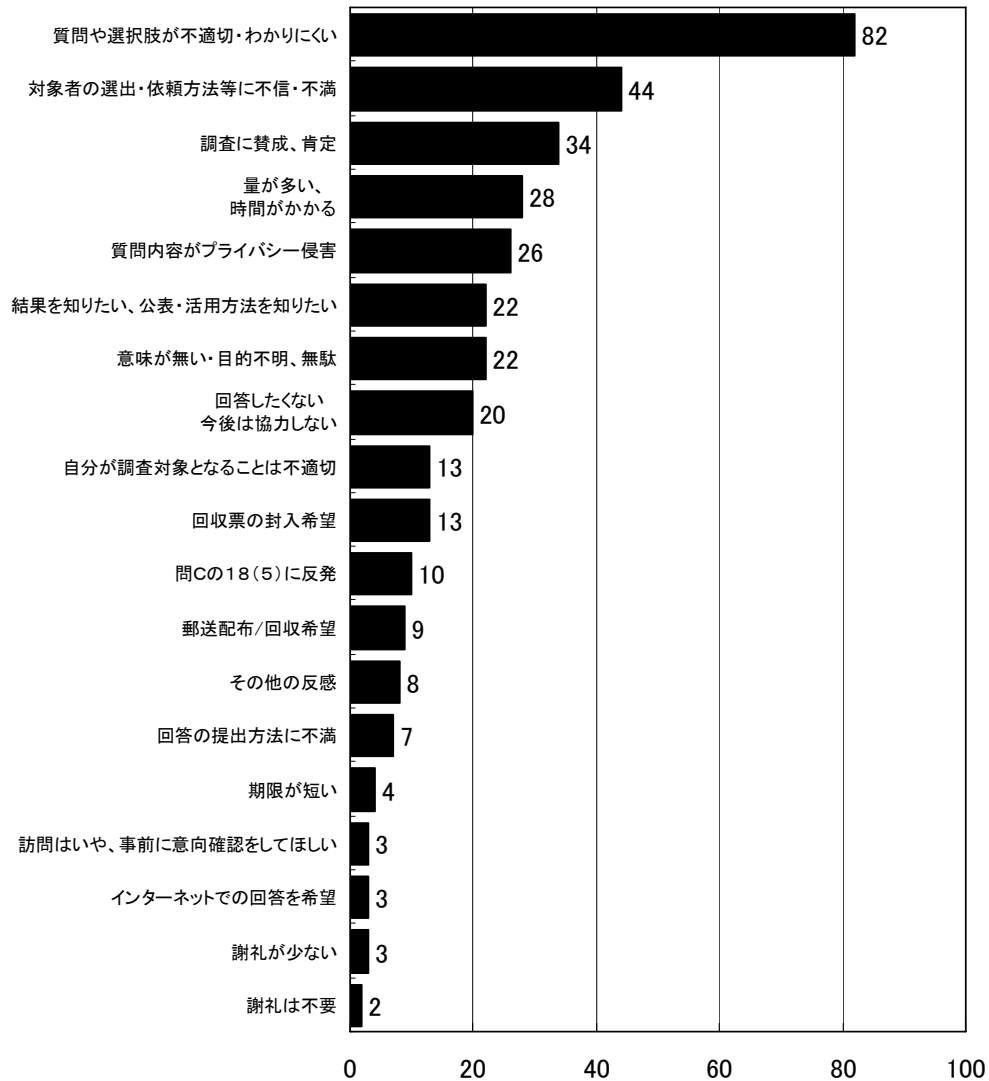
② 調査法に関するもの

- ▶ 対象者の選出・依頼方法
 - ・なぜ私が調査対象者になったか理由が書いてない。
- ▶ 調査票の配布・回収方法への不満
 - ・回収用の袋に入れて，中身が簡単に見えないようにして欲しい。

③ その他

- ▶ 調査の意味がない，目的不明
 - ・このような調査は役に立たないような気がします。
- ▶ 結果を知りたい，公表・活用方法を知りたい
 - ・調査結果についてぜひ知りたいです。ぜひ送って下さい！

図表Ⅲ-補-5 調査票「意見・感想」欄の記入内容（人数）



（注）一人が複数の事項を記入している場合には、それぞれの項目で重複してカウントしている。

3. 次回以降の調査法について

3.1 サンプルング方法とデータ収集方法

今回調査では、サンプルングは住民基本台帳又は選挙人名簿からの無作為抽出、データ収集は訪問留置法によって行った。今後、本調査を継続的に行って時系列データを収集していくことが期待されるが、データの時系列比較を行うためにはサンプルングやデータ収集方法は同一の方法を維持することが必要であり、次回以降も今回同様の調査法とすることが適当だろう。

ただし、調査結果の代表性を改善する、すなわち回収率をあげるための工夫は必要であり、また、訪問調査の回収率は趨勢的に低下する傾向にあるので²、回収率の改善策なしには、次

² 内閣府の世論調査の回収率をみるとその傾向が顕著である。

回以降調査で今回調査と同水準を維持することは困難だと考えたほうがよい。その具体策については次項以降で検討する。

3.2 依頼状の工夫

今回の調査では、調査の目的、結果の利用方法、調査対象者の抽出方法などについて、調査に先立って送付する依頼状及び調査票に記載し、調査対象者の理解を得るよう注意を払った。しかしながら、戻ってきた回答票の自由記入欄には、なぜ自分が選ばれたのかわからない、何のための調査かわからないといった感想がいくつもあった。これは、依頼状等が読まれていないことや、読まれたが理解されていないことによるものだろう。

振り返ってみれば、今回調査の依頼状等のスタイルは、一般的な事務文書のように文章をベタ打ちしたものであり、読みやすさや訴求力という点ではまだまだ工夫の余地がある。自由記入欄に苦情を書きながらも回答してくれた方たちの背後には、依頼状を読む気にならない、あるいは読んでも調査に対する理解を喚起できなかったために回答しなかった層がいるものと想像される。

次回以降の調査実施時には、事務文書よりは広告宣伝媒体に範をとって、イラスト、カラー、図示などを用いてわかりやすくアピールできる依頼状としてはどうだろうか。また、特に回収率が低い20代、30代への訴求力を高める工夫をするべきだろう。例えば、独立行政法人経済産業研究所が実施した「暮らしと健康の調査」³の依頼状は、わかりやすさ、見やすさなどの点で参考になるものと思われる（付属資料2）。

3.3 調査票の回収方法

調査票の回収方法については、「回収用の封筒に入れて封をし、回答内容が目に触れないようにしてほしい」との苦情が多数あった。プライバシーに及ぶ回答も含んだ調査票をむき出しのまま調査員に渡したり調査員がそれを持ち歩いたりすることについて抵抗を感じる回答者の心情は理解できる。次回以降は、調査票の回収時に、回答者が回答した調査票を封筒に入れて糊付けするなど簡単に開封できないようにする工夫が必要だろう。

その他、少数だが、郵送による調査票の配布・回収、インターネットによる回答を希望する声もあった。回収率を高めるため、調査員による回収、郵送による回収⁴に加えてインターネット、ファックスによる回答を加えることが考えられる。これにより調査員の訪問を嫌う層からの回答が期待できる。ただしその場合、回答方法が異なるために測定誤差が生ずる懸念があるので、回答方法の多様化による無回答誤差の縮小と測定誤差の拡大の影響を比較衡量する必要がある。

³ 調査の概要については <http://www.rieti.go.jp/jp/projects/mct03-2-1/pdf/01.pdf> 参照。

⁴ 今回調査でも、郵送による返送を希望する場合は郵送を認めていたところ、郵送を選択したのは10件だった。

3.4 調査結果の公表の案内

調査結果を知りたいという回答者が多い。回答者に調査結果を送付するのは費用の関係から実現が難しいので、調査結果の公表時期、公表方法（HPのURLなど）を調査依頼状に記載することが有用だろう。

3.5 調査のインスペクション（監査）について

2005年に、日本銀行の「生活意識に関するアンケート調査（第23回）」（訪問留置調査）⁵の実施にあたり委託先調査会社の調査員がデータを捏造していたことが発覚した。そのニュースがちょうど今回調査の準備段階で発表されたため、調査のインスペクションの方法について再検討を余儀なくされた。

結果として、調査終了後、調査票を回収した5,043件のうち2,879件について、調査協力世帯に電話をし、対象者本人に「調査員が訪問したか」「対象者本人が回答したか」等を確認した。その結果、代理記入や中抜け（一部のみ記入して持ち帰り）が10件、本人から“やっていない”と回答があったものが8件あると報告された。これを受けて、代理記入や本人からやっていないとの回答があった調査地点については、本人または家族から不正のないことが確認されたもの以外の完了票は集計から除外することとした。そのようにして除外された完了票は104票あり、結果として、有効回収数は5,043件から4,939件に減少した⁶。

データ収集が適正に行われるためには、調査実施後のインスペクションの実施は不可欠ではあるが、インスペクションだけでは十分ではない。期日や経費の面からみて無理のない調査計画の立案、調査会社の選定段階での会社の実査管理体制のチェック、実施準備段階での調査会社との入念な打合せといった各段階での配慮が必要である。また、プライバシー保護意識の高まり、訪問調査への信頼低下など調査環境は流動的な状況にあるので、インスペクションをどの程度行うべきかどうかは、その時々の調査環境や調査会社の事情をよく見極めて調査のつど判断すべきものとする。

4. 質問項目の検討

4.1 調査票全体について

- ・「量が多い、時間がかかる」という意見が多くあったが、今回の調査票設計の際にも分量については注意を払い、調査項目をできる限り絞り込んでおり、研究テーマとの関係もあって質問の分量をこれ以上減らすことはなかなか難しいと思われる。次回以降については、少なくとも今回よりも回答者負担を増やすことのないようにすべきであろう。
- ・今回調査では有業者への質問に比べて無業者への質問が少なかったが、無業者についての

⁵ なお、第27回の同調査（2006年10月）から調査法が郵送調査に変更された。

⁶ インスペクションの方法と結果の詳細については、労働政策研究・研修機構『就業形態の多様化の中での日本人の働き方－日本人の働き方調査（第1回）－』（JILPT調査シリーズNo.15）p6-7参照。

データ収集も重要であり、また、調査対象者のうち仕事をしていない人からは、自分は回答者として不適切であるという感想も寄せられたことから、無業者の質問を増やして有業者と無業者の質問量のバランスをとるほうがよい。

4.2 個別の質問項目について

- ・問 C-29「あなたやあなたの配偶者は、同居の有無にかかわらず、次の人の生計費の一部の面倒をみていますか」について、選択肢を「1 子ども, 2 親, 3 その他」しか示していないため、「誰の面倒もみていない」という場合にあてはまる選択肢がなく、いずれにも○がついていない場合が無回答か「誰の面倒もみていない」のかの区別がつかない。「誰の生計費の面倒もみていない」という選択肢を用意すべきであった。問 C-4（「すべてなくてもかまわない」を選択肢に追加する）、問 C-5（「一つも知らない」を選択肢に用意する）、問 C-30（「いずれもやっていない」を選択肢に追加する）も同様である。
- ・在学中かどうかがわかる質問がないので、入れるほうがよい。
- ・通算した就業年数についての質問がないので、入れるほうがよい。
- ・問 C-18 (5) は、「A 税金や社会保険料などの負担を増やしても、国や自治体は、社会保障や福祉の水準を引き上げるべきである」と「B 社会保障や福祉の水準を引き下げても、国や自治体は、税金や社会保険料などを減らすべきである」の二つの考えた方を示し、「あなたのお考えはA, B どちらの考え方に近いですか」と尋ねる質問であった。この項目に対して10人の方が意見・感想欄に“設問がおかしい”“作為的である”など反感のこもった意見を記入した。回答者全体ではより多くの方が不快に感じたものと推測する。この質問は今回の調査の目的からみて必要なものだったが、公的機関である調査実施主体の利害にかかわるような質問であれば、質問者の政治的意図を憶測する回答者がいても不思議はない。先入観のない回答が得られるような設問を工夫すべきだろう。
- ・就業形態など基本的な属性については、労働力調査や就業構造基本調査と同一にするほうがよい。具体的には、今回調査の質問の流れでは「役員」は「雇用されていない」場合に提示される選択肢となっている（問 A-6）が、これは労働力調査と同様に「雇用者」の中に位置づけるべきだろう。
- ・また、家族従業者については、労働力調査では無給であっても仕事をしたとすると注記しているが、今回調査では収入のある仕事のみを「仕事」と定義している（問 1）ので、無給の家族従業者は仕事をしていないとみなしているという相違もある。この点については、今後の調査の利用意図を考えて、労働力調査にあわせるのか、今回調査と同様の形式を続けるのかを検討すべきである。

4.3 無回答が多かった質問への対応

無回答が多かった質問（無回答率 5%以上）には、数字を記入させるもの、配偶者につい

ての質問，収入・負債の額を尋ねるものが多い。このうち，数字を記入させるものについては，数値をいくつかの区分で選択肢として示す選択式に変更することができよう。収入・負債についての質問は，分析上，重要な変数であるが，他の調査でも無回答が多く，無回答への効果的な改善策は容易ではない。回収方法に配慮するなど秘密保護についての安心感をもってもらえるような工夫を積み重ねるしかないのではないか。

配偶者についての質問は，問 A-32，問 C-6 では「わからない」「配偶者はいない」という選択肢もあるにもかかわらず，本人についての同旨の質問に比べて無回答が多い。これは，配偶者のいない人は，質問欄に「配偶者」という文字があるだけで，それ以降の選択肢を読まずに質問をとばしてしまうことが一因ではないかと考えられる。配偶者に関する質問を一箇所にまとめ，配偶者のいる人のみに回答してもらうほうがよいかもしれない。

図表Ⅲ-補-7 無回答が多かった質問（無回答率が5%以上のもの）

質問項目	無回答率	回答方法
問 A-6 付問 2 給料の支払い方法	13.0%	選択式
問 A-6 付問 2 週給額	33.3%	数値記入
問 A-6 付問 2 月給額	8.6%	数値記入
問 A-6 付問 3 付問 1 雇用契約期間	20.2%	選択式
問 A-23 副業の1か月当たり時間数	10.0%	数値記入
問 A-24 今の勤務先以外の勤務経験の有無	5.0%	選択式
問 A-24 正社員として働いたことのある勤務先の数	12.2%	数値記入
問 A-25 これまでに営んだ事業の数	12.1%	数値記入
問 A-26 卒業してから正社員の仕事につくまでの期間	8.9%	数値記入
問 A-29 育児負担と仕事の両立可能性	7.9%	選択式
問 A-32 離職可能性 aあなた(今後1年間)	7.7%	選択式
問 A-32 離職可能性 bあなた(今後5年間)	5.3%	選択式
問 A-32 離職可能性 c配偶者(今後1年間)	17.3%	選択式
問 A-32 離職可能性 d配偶者(今後5年間)	17.4%	選択式
問 C-6 本人の医療保険加入の有無	8.3%	選択式
問 C-6 本人の個人年金加入の有無	14.1%	選択式
問 C-6 配偶者の生命保険加入の有無	11.9%	選択式
問 C-6 配偶者の医療保険加入の有無	15.3%	選択式
問 C-6 配偶者の個人年金加入の有無	20.2%	選択式
問 C-9 b配偶者の健康状態	8.0%	選択式
問 C-12 頼れる人の有無 a～d	6.1～12.7%	選択式
問 C-15 預貯金額	22.7%	選択式
問 C-17 付問 負債額	9.5%	選択式
問 C-24 年間収入 a本人	11.0%	選択式
問 C-24 年間収入 b配偶者	16.7%	選択式
問 C-24 年間収入 c世帯全体	16.8%	選択式
問 C-28 末子の年齢	15.0%	数値記入
問 C-32 付問 配偶者の労働時間についての希望	6.2%	選択式

5. 要約

本章では、次回以降の「日本人の働き方調査」の改善のために、調査法と質問項目について問題点を拾いあげたうえで、対応可能な事項については改善策を提案した。

- ・全体の回収率は 61.7%と近年の訪問調査の標準的な水準ではあるが、男女の 20 代、男性 30 代の回答率が低かったと推定されることや、就業形態や職業の構成比が労働力調査と比較してやや偏っていることから、今後は回収率の改善を目指す必要がある。
- ・調査票の「意見・感想欄」の記入内容を見ると、「質問や選択肢が不適切、わかりにくい、答えにくい」「対象者の選出・依頼方法等に不信・不満」が多い。また、回収時に調査票が封入されないことへの不満や、調査結果が知りたいという意見もあった。
- ・以上の問題点に対して、改善策としては、依頼状をわかりやすく訴求力のあるものにする、調査票の回収の際に封筒に封入する、調査結果の公表方法・公表時期を依頼状に詳しく記載することは実行可能かつ有用と考えられる。
- ・質問項目については、無業者への質問を増やす、基本的な属性についての設問を労働力調査にあわせる、回答方式が数値記入式の質問では無回答率が高いので、できるだけ選択式にするといった改善策が考えられる。

付属資料1 「意見・感想」欄の記入内容

*すべて原文のまま記載している。

*1 人の回答者が複数の事項に言及している場合は、言及しているいずれかの項目に振り分けてまとめて記載した。

① 回答したくない、今後は協力しない

- ・ もう二度と係わりたくない。面倒だし、こんな暇は無い。
- ・ 無作為に選んでほしくない。調査は全般嫌いです。今回のみという事にしてほしい！！
- ・ 迷惑なのでやめて下さい。
- ・ 体の調子が良くないから、こんな調査は今後したくない
- ・ 今後このような調査はしたくありません。
- ・ 今後、できれば答えたくない。これが、どのような自分にとって、良い方向に向くのか不明だから。記入もれは、答えたくないと理解し、電話はやめてほしい。
- ・ 今回は協力したが、今後協力するつもりはない。
- ・ 今回で最後にしてほしい。
- ・ もういらんほっといてくれ！
- ・ とても迷惑でした。
- ・ これで終わりにしてください。
- ・ 2度と調査依頼しないで下さい

② 質問内容がプライバシー侵害

- ・ すごく面倒でした。かなりプライベートな事まで記入のアンケートでした。もう二度とこの様なアンケートは嫌ですね！
- ・ 答えたくないものがいくつもあり、その中でもどうしても嫌なもの意外は、がんばって記入したつもりです。今後はあまり協力したくないのでこういうことは最後でお願いします。(かなりプライバシーにかかわる質問が多く不愉快に思います)
- ・ 今後このような協力は出来ない。個人情報的要素がありすぎではないか。図書券もいらぬ
- ・ 質問が多すぎる。収入など、プライベートな項目は答えられない。
- ・ 知られたくないことについては答えておりません。なぜ私が選ばれたのでしょうか？答えていくうちに「は？何？この質問」と不思議に思ったり、不審に思ったりしましたので、申し訳ないけれど結構適当に答えています。
- ・ 少しプライベートな質問があったので、答えられるのがいやだった。無記名とあるが、住所と名前、生年月日まで調べられてあるので調査に協力したくなかった。
- ・ 預貯金の額は回答しません

- ・ 書きたくない事項 2~3 あるので（収入のところ）図書券はいただきません。
- ・ 収入の金額などは記入したくありませんでしたから記入しませんでした。主旨がやや分かりにくいです。
- ・ 収入などはプライバシーなもの。答えたくないのに記入しません。
- ・ 失礼な質問が多い！！
- ・ 個人情報保護法が守られていない気がします。プライベートな内容が外にもれそうな気がするの、あまり答えるのが好ましくなかった。
- ・ 現在の仕事内容に対する満足度などの質問には気軽に答えられますが、預貯金などに対する質問はいくら名前を記入しなくても良いアンケートでも個人情報が外部に漏れる心配が考えられますので答えませんでした。
- ・ 具体的な質問が多いので、変な事に利用されそうでいやなので、書きたくないところは書きませんでした。
- ・ 具体的で答えたくない質問もあったのでそれらはパスしました。前回は似たような調査（同じか忘れたが）あったが個人情報が何かで漏れているか気になった。
- ・ プライベートに関する事はお答えしておりません。独立行政法人は役人の天下りのためにあり、税金の無駄遣いなのでこの調査も形式的なもので意味はないと思いますよ。
- ・ これからますます高齢化がすすむ日本に合うような労働政策を考えて欲しいと思います。このアンケートに各家庭の預貯金や借金、負債の記入は関係あるのでしょうか？労働に関するアンケートのはずですが？
- ・ この調査上で、収入、預貯金までアンケートに答える必要は無い！アンケートをとること事態プライバシーに関する事失礼である。調査内容の趣旨が違うと思う。この内容は検討すべきである。
- ・ かなりプライバシーに立ち入っているのではと思います。

③ めんどくさい、量が多い、疲れた、時間がかかる

- ・ 用紙配布から回収までの期限が非常に短い。設問数が多い。
- ・ 問 C-24 等は考えて計算だいたいしてみるのもしんどくつらいです。年のかげんですね。ごめんなさい。問 C-15 等、結婚してから主人の収入貯金とか、給料の明細もみせて（現在にいたるまで）くれないし、云ってもくれませんのでわかりません。ごめんなさい。乱文乱筆でごめんなさい。
- ・ 目が老眼になっているので疲れました。
- ・ 調査票の内容が多すぎて疲れます。特に 50 歳以上の方は老眼他成人病などをもっている人が多いと思います。短いほうが記入しやすいのではと感じました。研究員調査員の方々もご苦労様です。
- ・ 大変つかれました。ご苦労様です。（調査）
- ・ 設問が多すぎる。もう少し簡単にとと思う。

- ・ 設問が多くて非常に疲れました。もっと要点のみに絞って質問項目を減らしたほうが良いと思います。本調査が有効に活用されることを期待しています。
 - ・ 設問が多いのでは。
 - ・ 設問がちょっと多過ぎる。これで何を調査しようとしているのか、良く分からないが、今の日本の現状を考えるとおそらく二極化に近いデータが出てくると思います。いわゆる大企業、公務員等の勝組とその他の負組。これからはますますその傾向が強くなると思う。
 - ・ 情報が細かく面倒くさい。
 - ・ 書く回答箇所が多すぎた。
 - ・ 質問事項が多過ぎる。アンケートの回答が見えないようなシステムにすべきだ。郵送でやればいいのでは？（国税調査と同じ）これじゃー調査員にわかってしまう。アンケートになってない！！だから回答も書けない。
 - ・ 質問項目が多かったため、ものすごくストレスを感じた。二者択一の質問はとても当てはまりにくいものが多く困った。
 - ・ 質問が多すぎてとてもつかれました。前の半分はわかりにくく、うまくかけてるかわかりません
 - ・ 質問が多すぎです，時間がかかります。
 - ・ 字が良く見えないため（夜しましたので），時間もかかりちょっと疲れ気味です。
 - ・ 子供が 3 人いるので書く時間もないので質問事項など少ないほうが良いなと思いました。
 - ・ 項目が多過ぎる。ある回答から自動的に導かれる設問が非常に多くあります。もっともっと人によって答える設問が，限定されれば答えるべき設問がぐっと減ります。
 - ・ 項目が多すぎ。これをうまく整理できるのかどうか疑問。
 - ・ 記入事項が多過ぎる。30分時間がかかった。5分くらいでできるくらいの物にしてほしい。金額の枠は右揃えにお願いします。書きにくいです。
 - ・ ムダに長過ぎる。
 - ・ アンケートに要する時間がかかりすぎて大変でした。スムーズに答えられる内容にしていきたい。個人情報時代です。情報漏れの無いようにして下さい。
 - ・ アンケートにしては時間がかかりすぎではないですか。
 - ・ 設問が多過ぎる。一度の調査で，しかも無料でやる調査にしては，細か過ぎる。負担である。
- ④ 期限が短い
- ・ 回答は郵送にしてほしかったです。又期間もせめて1週間は見てほしかったです。赴任先から余分に自宅に戻るような事態になりました。
 - ・ この用紙を 8/29（日）夕方もってきてありました。私は遅く帰ってきました。そして

回収は 30 日と一方的に言っていますが、一日中働いて帰って食事の準備と方付けをしておわるのは 10 時すぎます、くたくたです。せめて 4~5 日位ないと目も通せません。結局職場に持って行って昼休みに書くしかありません。こんな無茶なことはしないでください。担当者に必ず伝えてください。

- このアンケートの回収にあたり、日にちを〆切るのはやめてほしい。疲れて帰ってアンケートに答えるのがやっとなのに、回収にくる期間が短すぎます。(悪気はないのですが、1 日遅れたのは申し訳ないのですが)
- 回答は郵送にしてほしかったです。又期間もせめて 1 週間は見えてほしかったです。赴任先から余分に自宅に戻るような事態になりました。

⑤ 意味が無い・目的がわからない・無駄な調査

- 今後このような調査には協力できません。このようなことをしても今後の社会が向上するとは思えないので。
- 日本人の働き方調査、よく意味がわからない。これをもとに何の意味があるのか・・・？
- 調査に意味を感じない。厚生労働省の天下りのための税金のムダ使いの法人で、存在自体に意味がなく、調査も実際に行って統計は出しても、行政に結びつくとは思えないし、そういう目的の調査でもないだろう。500 円の図書券も税金だし、貴方達の給料も税金だということを知ってやっているのか。そんなムダ使いをするから 30~40 年後の年金や社会保険が崩壊するのです。
- 質問が漠然としていて意味が分からない。このアンケートの結果から何がわかるのか分からない。
- 仕事を中断し真面目に書いたが、意味があるのかな？
- 仕事から帰ったら調査票があった。うさんくさい感じがした。国税調査なのかと思ったがそうでもないし、一応書きましたがこれが政策に生かされるとは思えない。
- 具体的な目的、意義が不明。
- 簡単なようで迷うようなものもありました。これがどのような役に立つのかさっぱり理解できません。私のこの調査も何かのお役に立つのなら嬉しいです。
- 何のための調査ですかお答えして？又この調査で何がわかるのですか？私たちに何が必要か(希望)わかりますか？
- 何に役立てるかの意図が不明。
- これをしてどうなるの？何か意味があるのか？
- これが何の役立つのか？なんのためにしてる、いみあるのかな。
- この様な調査は全くムダではないかなと思う。労働時間以上に働いても残業代金をもらえず、有給休暇もとれないのが現実。
- この調査は、一体何に役立つのですか？
- このような調査をして何か変わるのでしょうか？

- ・ このような調査は役に立たないような気がします。

⑥ 対象者の選出方法，依頼方法等に不信・不満

- ・ どのどなたか存じませんが，このアンケートはランダムなのでしょうか，なぜ私に？不思議ですね。収入まで聞くというのは本当に意味のあることでしょうか？今日のこのアンケートは？ですね。
- ・ 調査方法は郵便案内→直接訪問でこちら側の意向とは関係なく一方通行なところが遺憾です。往復はがきなどで拒否することできないのはなぜでしょうか？また不在時の訪問で書類と図書券を置いていかれると，強制されているように思います。取りに来たときに協力した場合に図書券を渡した方が，置いていかれるよりも，気分が良いと思います。そうすると回収率が下がるからできないのでしょうか？今後このような形での調査には協力しがたく思います。
- ・ 事前に協力依頼のはがきを送ったとの話だが，当方には届いておらず，突然調査票を持って訪問され，面食らった。調査に協力しても良いか否か，事前に承諾を得た人だけ実施して欲しい。今後はこのような調査には参加したくない。
- ・ 葉書が届いたとき，正直ほんものなのか，ウサンくさいものなのかかなり悩みました。広報誌等に一文載っているとすんなり信頼できたと思うのですが，難しいでしょうかねえ。
- ・ 無作為に選出との事だが，関係機関の名前だけでは信用できない。市役所の住民台帳を参考にしているのなら担当課の職印でも押印していただいたほうが，わかりやすく信頼できる。今回は協力したが，未だに 100%は信頼できないので一部無回答とした。（個人情報流出ほど怖い物はない。）
- ・ 無作為との事ですが，全国で 8000 人との事ですが，信じられません。私の場合は個人情報など，無いに等しいので回答させていただきます。
- ・ 本当に厚生労働省所管の独立行政法人とありますが，少しあやしいアンケートです。
- ・ 本人不在の際に図書券付きでこの調査書を置かれ，「やらなきゃいけない」と感じてしまいました。協力する気持ちはありますが，強制的な受け渡しにも少し残念に思います。働いている日本人，普通昼間家におりませんから。
- ・ 突然ハガキが来て，アンケートと言われてもあまり良い気はしませんでした。
- ・ 調査対象者の選出方法を明記してほしい。
- ・ 調査員が来てくれても，いない日が多い。
- ・ 新情報センターさんの調査についてはありませんが，「市区町村の了解を得て」とはがきを書いてあった事に，こんなに簡単に氏名，住所が分かってしまうものかとビックリ致しました。この事は市役所に問い合わせをしたいと思います。このアンケート後の氏名，住所は抹消していただけますでしょうか？！
- ・ 私の知らない人が，私の住所や名前をなぜ知っているのか不安である。知りえた方法を

明示してほしい。

- ・ 市町村の住民基本台帳，選挙人名簿から調査対象者を抽出したのであれば市町村から先に調査依頼の案内をするべき。「厚生労道省所管の」と書かれていても今の時勢には信用性は低いと思われます。調査の内容以前に依頼ルートの検討をして頂きたいと思いません。
- ・ 仕事から，日中の訪問は留守がちです。訪問する日時を前もって連絡くれると都合つくかもね。おつかれさまです。何度もすみませんでした。
- ・ 最近疑わしきハガキが数多く郵送されるので，記載内容等の検討，見直しを行い，より一層信用性を高めることが必要と思われます。※立派な人達の肩書きを私は逆に疑ってしまう。(ア) 発送先住所と郵便局の消印 (イ) 研究会員名の記載追記 (ウ) お問い合わせ先をフリーダイヤルに (遠方の人々の料金負担を考慮)
- ・ 最近は怪しい訪問販売やら，アンケートやら宗教などがあって，すぐに信じるわけにはいかない状況。そんな時に，はがき1枚で本物かニセモノかわかるわけないじゃろ。独立行政法人なんならそれくらい考えてやれや。そんな事にもきがつかん様な職員しかおらんのだったら，全員クビにせーボケ。税金のむだじゃ。
- ・ 今何かと問題が起きている世の中です。いくらハガキが届いて了解を得，用紙を後日をもって来る調査でもこんな山奥の人間すら疑いの目は光らせていると思う。地図を片手にさぐりながら家を回っている調査員の人も大変だろうし，何を聞いてもすらすら答える人だったから協力したものの半信半疑な調査に思えるのですが。
- ・ 国勢調査などと異なり信用してよいものかどうかずいぶん悩みました。現在もまだ記入してよかったのかと思っている。もう少し政府広報なり，メディアなどで知らせてほしかった。この調査が正しく使用されることを強く希望します。
- ・ 国勢調査と同じような印象を受けました。個人保護法を耳にする時代になり，調査以来の抽出方法を明確に説明してもらわないと今後は協力できるか分かりません。
- ・ 国勢調査が始まるのでこの調査には不安でした。自分も調査員です。
- ・ 個人情報についての点，近頃気になりますのでその点ご注意くださいらと思います。調査依頼が突然でした。時間的余裕と，もし答えたくない場合のことを考えていただけたらと存じます。
- ・ 現在「アンケート調査」はできないようになってはいるはずだと聞きましたが。この件はよろしいのでしょうか？
- ・ 回答の了承を得てから調査票を持って来るなどしてほしい。あまり気分のいいものではない。
- ・ なぜ自分がこのアンケートに選ばれたのか？
- ・ なぜ私が調査対象者になったか理由が書いてない。
- ・ どうゆう名簿で選ばれたのか明らかにしてほしい。

- ・ この調査はどこで調べてくるのですか？なんで全員にこないのですか？
- ・ この後、DM等が増えたら、まず、このアンケートをうたがいます。

⑦ 回答の提出方法に不満

- ・ アンケートの主旨、目的説明が不十分（アンケート用紙内に）。調査員による回収では個人情報の漏えいにつながらないか。
- ・ 自宅に来られてのアンケートなので年収など答えにくいです。特に住所と質問事項は関連しないと説明は受けましたが街頭でのアンケートのほうが答えやすいと思います。
- ・ 調査の趣旨は十分理解できますが、この様な調査票の回収方法では、個人情報の流出があっても、まったく不思議ではない様に見受けられます。今後の改善を望みます。
- ・ 依頼については郵送とはいかないかもしれないが、回収についてはセンターへの直接郵送にすべき。アンケートなら、それでいい。封書にすべきだ。プライバシー保護を考えていなさすぎる。

⑧ その他の反感

- ・ とても信用できない調査。やり方を変えないと正確に出来ないと思う。
- ・ いらいらする。
- ・ 「働き方」以外のことも大分質問されて困惑しました。

⑨ 好意的な意見、激励

- ・ 役に立つことを願います。
- ・ 年齢や子供の有無、また配偶者の有無、仕事をしているかしていないかで考え方が変わっていきませんが、今私の置かれている状況で、日々考えさせられるような、アンケート内容で非常に、取り組みやすかったです。忙しい中2度も回収に足を運んでいただいた調査員の方にお詫びの気持ちです。
- ・ 日本人は働き過ぎと耳にしますが、この調査で余暇を楽しむより唯、仕事におわれた生活をしている状態に気づきました。
- ・ 日本の仕事／生活スタイルはとてもせこせこしていて悲しくなります。休みは少ないとか、サービス残業とか、見たり聞いたりかわいそう。アメリカ企業の日本オフィスで働いている身分なので、ほとんどそんなことは無縁です。形式にこだわる日本企業の文化／思想の悪い部分は早くすてさるべきですね。自分の意見とかアンケートでものごとが良い方向に向かうなら、喜んで調査に協力します。
- ・ 特にありません。ありがとうございました。
- ・ 提出が遅れました。すいません。この調査が生かされることを望みます。
- ・ 調査の依頼は協力いたします。
- ・ 大切な国民のお金を使って調査をしているのしょうから、ぜひ皆のデータを活かし、労働政策を動かしてほしいと願います。意義ある研究を。
- ・ 図書券を有難う御座いました

- ・ 将来の事を考えるきっかけになりました。こちらこそ有難う御座いました。
- ・ 初めてのことのでびっくりしてます。どんなことになるのかと思っていましたがあまり難しくなかったのが良かったです。図書券ありがとうございました。
- ・ 自分自身の意識が確認できて良かったです。
- ・ 自分の毎日の生活が本当にこれでよいか、反省することもあります。良い機会でした。
- ・ 自分の生活や行動、考え方などを見直す、よい機会になりました。
- ・ 自分の 10 年後の姿を想像し豊かな生活と健康保持が重要だと認識しました。社会交流の少なさも気になり、今からでも仕事に固執するのではなく、生き方を少し変えてみたいと思いました。ありがとうございました。
- ・ 仕事は生活を楽しくしていくためのものである、というより、社会の何かの役に立って対価を得られる、すばらしい体験なのだと思います。この調査を通して、慎ましやかではありますが、未来の地道な生活の計画を立てよう、という気にさせていただきました。個人情報法律が施行され、アンケート調査も大変かと思いますが、安心の施策づくりのためにがんばってください。
- ・ 今回の調査が参考になれば幸いです。労働基準法があつてない様なものと思うので、経営者、事業主にもっと指導してもらいたいです。
- ・ 国政に対して数々の不満や疑問を抱いている割には自己の向上心や計画性の薄さ、勉強不足、己の将来に対する無責任さを痛感しました。
- ・ 御苦労様です。良い世の中になるようにがんばりましょう。
- ・ 何度も足を運んで頂き、ありがとうございます。きちんと書きましたので、宜しく願い致します。
- ・ 何度も足を運ばせまして、ご苦労様でした。
- ・ やるだけでは意味が無い。今後のために本当に役立てて欲しい。金（人件費）がかかっているのだから。
- ・ また、時間があればご協力させていただきたいと思います。
- ・ とても楽しい調査でした。又ヨロシクお願いします。
- ・ ご苦労様です。アンケートを書きまして自分自身の事を再確認するよい機会でした。
- ・ ご苦労様です。
- ・ この調査で明らかになった問題点を放置するのではなく、是非改良して、働きやすい社会に近づく礎にしてください。
- ・ この調査で色々な事を考える事が出来ました。現在と老後の事もありますが、これからは子供達にたよれるところはたよって、できる限り配偶者とがんばっていきたいと考えています。
- ・ いろいろな質問に考えさせられることが多々ありました。少しでもお役に立てたらと思

っております。

- ・ 私自身もっと将来の不安を少なくするために日頃から節約したり、貯金をしたりしなくてはいけないと思いながら貯金をする余裕がなく、かといって節約は心がけていてもできにくかったりしている実態を確認する事ができ、反省させられました。ありがとうございました。

⑩ 結果を知りたい、結果の公表・活用方法を知りたい

- ・ 質問が曖昧で解答しづらい項目あり。統計を取るとの事だが全体の結果のフィードバックは欲しい。最初悪徳業者かと思った。もっと安心出来るような依頼方法が必要では？
- ・ ①何に使うか、知りたい。②結果を知りたい、もしくは、いつ、どこで公表されるか知りたい。③アンケートがわかりにくい。
- ・ どんな形として、この結果が使われるかを具体的に説明して欲しい。政策提言を誰にどのように行い、その過程や結果は何をもって知ることが出来るか？それが見えません。
- ・ 労力の多いアンケートだと思いました。この結果がどのように集計されるのか、その結果をどのように返してもらえるのか、説明が無いのはおかしい。調査項目ごとになぜこの質問をされるのか説明が無い。せめて年収などを尋ねる観点に注釈を加えて欲しい。
(別紙で解説して欲しい。興味のある人が読めるように)
- ・ 調査結果を教えてください。
- ・ 調査結果についてぜひ知りたいです。ぜひ送って下さい！
- ・ 調査結果が知りたい。
- ・ 調査結果が出たら教えて欲しいです。
- ・ 調査の規模、集約の結果がほしい
- ・ 集計結果を送付していただきたい。
- ・ 集計の結果を知りたいです。協力した人は結果をもらえないのですか？
- ・ 回答者にある程度のデータフィードバックが必要と思います。
- ・ 回答の統計資料について結果を知りたい。具体的な日程も含め情報を開示してほしいです。いつ結果が出るのかなど。
- ・ この調査結果（集計結果）が公表されるとしたらいつ、どこ（何）で公表されるのか知りたい。
- ・ この調査の結果を何のために使ったのか、又この調査の結果を知らせてほしい
- ・ この調査の結果をまとめられて、何らかの形で公表されるのでしょうか。
- ・ この調査がどのように活用されるかが不明確
- ・ この集計結果は回答者にどのようにして報告されるのですか。回答したからにはその結果も知りたい。
- ・ この資料がどんな時どんな所でどんな形で利用されるのかを具体的に知りたい。
- ・ アンケート回答結果を、集計した物の開示してほしい。

- ・ 結果（今回の）を郵送して欲しい。他の人との意識差を知りたい。仕事でインターネットを活用している割合を知りたい。

⑩ 質問や選択肢が不適切・わかりにくい

- ・ 自分自身が長いこと働いていないのでアンケート内容にあまりぴんとこない所が多いです。
- ・ 私の仕事では、調査について当てはまらない事が多い。あまり参考にはならないのでは、ないでしょうか？
- ・ 仕事での収入が「ある」か「ない」かで区分していますが、安定した職場で定年まで働くことが前提なのか、一時的な職場なのかで考え方、回答が変わってくると思います。今の自分の仕事をどう捉えているのかという全体的な質問が無かったと思います。「A-7」は単に選んだ理由を聞いているだけで、満足しているかどうかは（これからどうするつもりか）聞いていないと思います。「A-42」は「仕事」についてと聞いているのですが、「今の仕事」と「仕事」が混在していて何を尋ねたいのか良く分かりません。特に「a 今の収入の水準」の「水準」というのはどういうことを指しているのでしょうか。回答がどういう分析結果につながるのか全く想像がつかず嫌な気分です。
- ・ 調査員の方がとても感じが良く、分かり易く説明して下さいました。何度も足を運んでいただいて申し訳なかったです。問 A-22 で、職業形態が「会社勤務」を前提として設問されていると思いました。私は都道府県単位で雇用されている職員（教員）なので、「勤務する学校は変わって当然だが、今の仕事を続けたい」という回答です。すみませんが、「会社」という言葉（前提）がなじみませんでした。「組織」も勤務先の学校組織なのか、県単位の教員組織なのか迷います。同じ理由で問 A-17 は、場所は現在勤務の小学校ですが、雇用主体は「県」なので、特に場所があるわけでもなく、転勤が多い（3～7年に1回）ので、私にとっては答えにくかったです。（ごちゃごちゃと書き連ねてすみません。神経を使う仕事かと思いますので、お体にお気をつけてください）
- ・ 質問が漠然としていて意味が分からない。このアンケートの結果から何がわかるのか分からない。
- ・ 簡単なようで迷うようなものもありました。これがどのような役に立つのかさっぱり理解できません。私のこの調査も何かのお役に立つのなら嬉しいです。
- ・ 問 C-24 等は考えて計算だいたいしてみるのもしんどくつらいです。年のかげんですね。ごめんなさい。問 C-15 等、結婚してから主人の収入貯金とか、給料の明細もみせて（現在にいたるまで）くれないし、云ってもくれませんのでわかりません。ごめんなさい。乱文乱筆でごめんなさい。
- ・ 質問項目が多かったため、ものすごくストレスを感じた。二者択一の質問はとても当てはまりにくいものが多く困った。
- ・ 質問が多すぎてとてもつかれました。前の半分はわかりにくく、うまくかけてるかわか

りません

- ・ 記入事項が多すぎる。30分時間がかかった。5分くらいでできるくらいの物にしてほしい。金額の枠は右揃えをお願いします。書きにくいです。
- ・ 問いの意見がわからない
- ・ 問 C-30 の設問の答えに 5 として「なし」を加えてはどうか。
- ・ 問 C-28 の解答欄で、2, 子ども（□人, 末子の年齢□才）となっていますが、どういうことなのか良く分かりませんでした。我が家の場合は長男（障害者）と同居しており末子は別居です。
- ・ 問 C-27 で 4 の「いずれもあてはまらない」は転居があったのに 1~3 に入らないのか。ない場合に 4 にまるをするのか分からない。問 C-29 で「ない」の回答がない。
- ・ 問 C-12 の項目に配偶者がいないのは何故ですか？現在 450 坪ほどの休耕田を借りて農業をしています。来年で 3 年です。商品販売を計画しています。
- ・ 問 A-5 の質問の意味がわかりません。私のような非常勤職に、もっと労働時間を長くして稼ぎたいと思うかを聞いているのか。あるいはサービス残業の多い人なら働きたくないと答えるケースになると思います。問 C-21「希望」の解釈「自分の望みや要求があるのか」という意味なのか、「見通しがつくのか」という意味なのか、二重にとれる。
- ・ 問 A-35~39 の「仕事」という言葉が現在の仕事を指すのか、仕事全般を指すのかがはっきりしなかったです。
- ・ 問 A-29「必ずしも育成に係わるとは限らない」ので回答が不足。問 A-32 設問の意味不明（解答が不適格）。問 C-29, 問 C-30 回答忘れか否かの判別ができない。
- ・ 満足に答えが書けなくてすみません。少し自分とかけ離れた問題で飛ばしました。
- ・ 夫の失業の時、就職の時間がアンケートと重なってしまい、自分の体調不良と職探しにもかかわっていることなのでアンケート内容に答えずらいところがあった。
- ・ 表の中で選択するものは、見にくい場合がありましたので、もう少し見易く工夫して下さい。ご苦労様です。
- ・ 配偶者なしの場合、答えなくてよい質問があったが、その場合の注釈をつけるなど分かりやすいほうがよい。残業がどこまでついているか（給与として）の調査はしないのか？
- ・ 農業用のアンケートでないと書きづらい。
- ・ 年齢別による回答例等を書いて欲しかったです。
- ・ 特殊な仕事ですので、回答が難しかった。（労働時間、場所など）
- ・ 同じような質問があるのでまたかと思いました。
- ・ 働き方には様々な形があると規定しておきながら、仕事をしている人を一まとめにし一律に質問に回答させるこのアンケート方法には疑問を感じます。事実回答に迷う問がいくつもありました。又収入などの細かい情報を記入するのに調査票の回集時、配布時に個人名が簡単に出ていることが不安です。この不安から回答できない部分もありまし

た。

- 働きたくても働けない人もいるので、そのような事情を抱えている理由、そしてその人達を対象とした問いが別にあっても良いような気がした。
- 働いていない理由など質問してほしい。
- 調査内容選択肢が不備。答えられるようにもっとよく考えて下さい。
- 単なる統計で実際の日本人の働き方調査になるのか疑問が残る。設問の内容に一考を。
- 設問の出し方により答えにくいものがあった。
- 質問の A-1, A-2 は、8 を○にしましたが、私の仕事は月ごとのシフトで行う仕事です。
- 質問に対して答えたくても、答えが自分に当てはまるものが無い質問がありました。
- 質問が結婚していることが前提になっているような聞き方になっていたのを何とかしてほしい。
- 質問がわかりにくい
- 自分の場合、当てはまらない物があったのでどういうふうに答えて良いのがわからなかった。
- 自営で働いている人に対するアンケートは分けた方が良いと思う。
- 自営での場合、休みの日でも何らかの仕事をしているので、休日の考え方が、組織で仕事をしている方と違うように思う。
- 私は独身ですが親の経済的身体的（介護）面倒もみています。調査項目に配偶者についての項目しかなかったので、答えにくかったです。30代すぎると自分の親の面倒を見るという現実はすでに迫っているものであることを理解してほしいです。
- 今、大学生で特に固定アルバイトをせず派遣として働いているので、弱冠質問が答えづらかったです。ご期待に添えずすみませんでした。
- 現在は就業していなくても働きたくても、どうして働けないかなども聞いてもらおうと、働く側となった時のハンディーも分り「働く人の安心への備え」にも意見を反映してもらえたらよかったと思います。
- 現在の社会状況からみてボランティア活動の必要性からみて、ボランティアの認識を深める為にも、福祉にかかわる項目を多く扱ってほしかった。
- 現在、主人の仕事の量が減っているため思うようには記入できませんでした。又農業もやっていますので仕事の内容時間など正しくは記入できませんでした。
- 回答の範囲が狭い。具体的でない。
- 一部設問に片寄った内容を感じます。
- 一番目の質問がちょっとあいまいと感じました。アルバイトか正業か分からなかった。質問は簡単明確に願います。
- 育児休業中の場合の選択枠が判断に迷った。
- わかりづらい質問が少しありました。（答えづらい）

- ・ リタイア組である程度高齢となったものには解答不明の設問がある。親の介護はどの程度か不明で答えにくい。
- ・ もっと様々な仕事について質問した方がよい。この内容だと私の場合答えようがない。
- ・ もっと実状に合った質問を、いろんな生活をしている人がいるはずです。
- ・ コメント入れている所は質問内容が？だったり、項目があきらかにおかしいと思った所なので、もっと考えて質問作れば良いと思った。経済産業省だか厚生労働省かわからないが、天下りの為の独立行政法人の仕事ってこんな物かとわかりすぎ。
- ・ お金の使い方や将来についての設問はその人の置かれた環境によって違うと思いますが今回の設問ではそういった状況が把握できていないと思います。例えば、配偶者もしくは子が病気により余命が限られている、もしくはそう老後までの人生を望めない場合、あるいはまったく子供がいない、望めない夫婦の場合など残す財産に対する考え方の違いなどで答えが変わると思います。今回の調査ではごくごく普通の一般の生活と人生を送れる予定の人向きではないでしょうか。
- ・ アンケートを年代別（30才、40才、50才）にさせていただきたいと思います。
- ・ アルバイトは含まれるのか迷った。将来の就職について、もっと早い時期から考える機会や多くの情報提供があればと思った。早い時期からの社会保障について知っておくことも必要だと思う。
- ・ P7, A21 の 1~5 は違いが分からない。
- ・ C-30 に該当なしの回答がない。
- ・ 9月で契約社員が終了となります。調査回答が難しいです。
- ・ 60歳と言う人生の転機を迎えて同じ会社の中で全く別の仕事に就いた人間にとって、回答判断に迷うところが多く、余り参考になるアンケートにはならないのではないかと思う。

⑫ 自分が調査対象となることは不適切

- ・ 夫が定年となり長男とその2人の子供と私の両親、7人で暮らしています。年齢的に働きたくても働けない年齢なので質問に対して答えられないところがありました。こんな回答でよかったのでしょうか。
- ・ 年齢的に必要ないように思います。たまたま65歳まで働けたので調査もできますが？
- ・ 年金生活者にはこの調査は無理があるように思えます、次は他の家に頼んでください。
- ・ あまり調査に当てはまらない人でした。
- ・ 20歳~65歳が調査対象者であるわけですが、私のような厚生年金生活者（他収入なし）が設問に対して戸惑いを覚える問が多々ございます。問題にチェックの印をしました。今後仕事につくにあたってを前提とした設問は該当外だと思いますのでご一考のほどお願い申し上げます。

⑬ 政策要望

- ・ この調査で明らかになった問題点を放置するのではなく、是非改良して、働きやすい社会に近づく礎にしてください。
- ・ この働き方調査によって国の制度のあり方、会社の位置づけがよく変化することを願います。いい方向に。皆が一定のレベルで。社会保険料等、働くことを前提にしての制度なので、現在のフリーター、ニート等との不公平感がある。
- ・ 本当に老後が安心できるのなら税は上がっても良いと思うが、今のような政治では夢も希望もない。役人は悪いことをしても責任も何もとらない。
- ・ 労働時間の短縮を厚生労働省のほうからもっと強制的に指示してほしい。年間休日取得の確保、きちんと最低限の休日をとれているか調査してほしい。アンケート結果をきちんと表してほしい。(役立ててほしい)
- ・ 労働の実態を検証し、仕事のミスマッチがないよう、幅広い職業を選択出来るよう、告知、幹施してもらえそうなシステムを、行政が積極的にやってもらいたい。
- ・ 要望・・・「社会保障の制度の仕組み等」を子供(学生)のうちに教えて欲しい。(教育の現場で)
- ・ 年齢的にこれからの老後について不安がある。特に公的年金の負担と給付の割合がどのようになっていくのか。できれば小さな政府府目指して公務員の削減や税金の無駄遣い、特殊法人をなくすなど、まず国から歳出削減に努力してもらいたい。
- ・ 年金額が世帯の構成状況で変わるのをおかしい。個人が納めた保険料に応じて年金額が決まるのが当然だと思う。この調査に働く女性の意見はしっかり反映されるのでしょうか？働いていない女性ばかり優遇されているような気がして、常々不満を抱いています。
- ・ 年金が非常に不安である。家賃(物価)が高すぎる。やる気があるが、自分にあった仕事が見つからない。労働時間が長くても会社には誰も文句を言えません。
- ・ 日本人は働くことが第一で、家族のために仕事を休むという事がいけないことのように考えられているところが、まだまだ多いと思います。休みをとる、有給は必ず使いきるなど休みのシステムを根本から変えていかなければならないと思います。
- ・ 日本人の働き方について、働きすぎ、あと、今の馬鹿な能力の無い上のものおろした方が日本のためになる。あと働き方じゃないけど、外のものを受け入れにくい(特に中年に多い)。たとえば外国人とか、外国の働き方とか、まあ外国だから違うのはわかるけど。でもへんに身内(日本人)を信用しすぎ。悪い人ってたくさんいるのに、馬鹿じゃないってか、そう考えられない人って古いし、そんな中年ばっかだと、子供が同じになるし、ついてかないよ。やっぱ信用されて尊敬される人がたくさんいなきゃ。いい人もいるけど、クソボケ多くない？自分を疑わない奴って、まずそういう可能性高くない？

⑭ 郵送配布/回収希望

- ・ 回答は郵送にしてほしかったです。又期間もせめて1週間は見てほしかったです。赴任先から余分に自宅に戻るような事態になりました。
- ・ このようなアンケート調査は、郵送しても構わないと思われる。
- ・ 質問事項が多すぎる。アンケートの回答が見えないようなシステムにすべきだ。郵送でやればいいのでは？（国税調査と同じ）これじゃー調査員にわかってしまう。アンケートになってない！！だから回答も書けない。
- ・ 郵送にてお願いしたいと思いました。調査員の方にお預けするのは無記名とは言えないのでお答えしづらい質問があります。
- ・ 回答の提出ですが、期限内に郵送ではどうですか？
- ・ 解答用紙は郵送にしてほしいです。直接受け取りに来られると本当にプライバシーの保護がされているのか疑問です。

⑮ 回収票の封入希望

- ・ 封書で郵便などでアンケートを送るか、書いたあとのアンケートは何か袋（封筒）などに入れて、丸をした調査項目が見えないようにしてほしいです。最初の調査依頼はがきを往復はがきにして、調査できるかどうかを確認して調査票を郵送するようにすれば、調査員の方の手数が省けると思います。いろいろ書いてあしからず。よろしくお願いします。
- ・ プライベートな内容調査にしては用紙をはだかで回収するのはおかしい。せめて封筒で密封すべきである。分析結果はどうしたら知ることができるのか分からない。
- ・ 働き方には様々な形があると規定しておきながら、仕事をしている人を一まとめにし一律に質問に回答させるこのアンケート方法には疑問を感じます。事実回答に迷う問がいくつもありました。又収入などの細かい情報を記入するのに調査票の回集時、配布時に個人名が簡単に出ていることが不安です。この不安から回答できない部分もありました。
- ・ 住基に了解を得るのは市町村ではなく本人であることを認識した方がいいと思います。（市町村の了解を得れば見れるものではない）プライバシーのために国税調査のように封筒を用意すべきだと思います。そのほうがアンケートに応じる方も増える。
- ・ 調査人は個人を特定できるのだから、厳封できる封筒を一緒に渡すべきである。
- ・ 今まではどうか知らないが、プライバシーを掲げるなら、むき出し状態での調査の引き上げはどうかと思うが？代行センターの不祥事を目にするが、時間を割っていただいている協力者を何だと思っているのか？
- ・ こういうプライバシーに触れるアンケートは、本人封印後調査員に渡すようなシステムにしないと不安であるし、以後アンケートの協力はしたくない。
- ・ アンケート用紙は密封すべき。協力を断る理由になると考える。
- ・ 金銭面に関して防犯の面が気になる。特に預貯金の文面は書類を別にしていただけると

うれしい（見えないように加工するとか）

- ・ 調査方法はこの冊子，むき出しのため，個人情報までには行かないとしても，一人ひとり封筒で密封した方がよい。正直に書けない部分も出てくる。（ナンバーなどがあるので個人情報に等しい）
- ・ 今年この種の調査は2度目であり，1度目の調査はプライバシーに配慮して封筒付であった。国税調査も封筒をつけるとのことであり，封筒をつけるか表紙と裏表紙くらいは，質問はなしにするべきだと思います。
- ・ 回収用の袋に入れて，中身が簡単に見えないようにしてほしい。
- ・ 回収時の封筒などは必要ではないか。

⑩ インターネットでの回答を希望

- ・ 普段働いている人は，本紙を調査員の方から受け取ることや提出することが難しいので，Web化してもいいのではないかと思う。もちろん，全ての人が環境を持っているわけではないので回答の一つの手段としてですが。
- ・ インターネットで出来たらいいですね。
- ・ インターネットで実施した方がいいのでは？

⑪ 謝礼は不要，謝礼が少ない

- ・ HPも拝見しましたが，このような調査を実施する意義が良く分かりません。今は労働政策云々の小技より，景気でしょう。調査がどう役立つか分かりませんが，個人的にはその効果と調査に要した費用のバランスが気になるところです。図書券進呈は止めたほうがいいと思います。今時は謝礼があると，逆に危険に感じることもあると思います。図書券欲しさにやる人は少ないでしょうし。
- ・ 今回配られた図書券の費用は，税金を使っているとすれば大変無駄であると思われる。
- ・ 謝礼が少ない。
- ・ 個人の情報を第三者に提供する以上，500円の図書券はあまりにも安すぎる！！その辺りをもう少し配慮すべきである。
- ・ 結構面倒くさいので図書券500円じゃ少ない。

⑫ 問 C-18 (5) (社会保障と国民負担増の間の選好についての質問) への反感

- ・ 社会保険や税金の負担を増やしても保障の水準を引き上げてても良いと答えたが，制度の不償と集めた金の使途の透明性が，もっと必要であると思う。
- ・ プライバシーに係わる質問にはお答えしていない箇所がいくつかあります。無記名で返送するように調査方法を変えればいかがでしょう？記入するうちになんだかアンケートの趣旨に懐疑的になってきました。問 C-18 (5) を例にしますと，このような単純な質問の仕方には政治的作為があるのではないかと疑いが生じます。「お金を出せば払います。払わなければもらえませんよ」という問題だけではすまないのではないでしょう

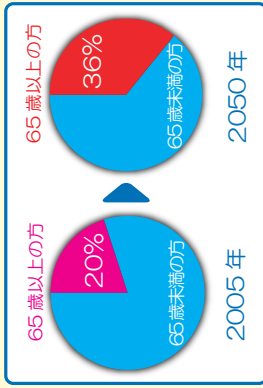
か？誘導尋問に思えますが。統計上の数値をそのまま結果として、あるいは世論として位置づけられたら堪らないと感じました。

- ・ 質問に対する回答の選択肢に困るものがある。どれかにはチェックするが、質問作成者の意図が分からないので、どのような調査結果になるのか不安。回答者の考えがストレートに反映されるとは思わない。例えば、問 C-12a 相談にのってもらおう。・・・アドバイスを求めるのか、グチ程度も含むのか（質問の意図が分からない）。問 C-18 (5) 社会保障～水準を引き上げると税金～の負担をイコールとは思えない。税金以外で水準を引き上げると思っている場合、どう回答すればよいのか。問 C-32 付問・・・残業代を全部出してくれるのなら②今のままでも。残業代が全部でないのなら③短く（条件で回答は変わる）。問 C-11〇は一つとなっているが「健康診断」とはどのレベルを言っているのか？トータルのもの？特定のもの？乳がん検診等自治体や夫の会社の郵送で受けているが、一つとあるので人間ドックのようなトータルなものと思って「5受けていない」にした。このような質問と選択肢で「客観的」な数字が出ると、後は見る人の解釈次第でどうにでも結果がころぶとしか思えない。
- ・ 設問 C-18 (5) について・・・「水準引揚の為には税負担の増加が必要」との設問の仕方自体が不愉快。税負担の増加しか方法は無いのか？次から次と明るみに出てくる「税金の無駄使い」「税金の不正使用」「不公平感」など次の世代（若者）に誇れる施策（罰則）を早急にすべき！！
- ・ C-18 (5) の設問は負担を増やして社会保障や福祉の水準を上げるとあるが、負担を増やしてもこちらの意図する社会保障や福祉が行われるとは限らない。今の日本の政治では特に不安である。
- ・ C18- (5) ?
- ・ C-18 (5) の設問は負担を増やして社会保障や福祉の水準を上げるとあるが、負担を増やしてもこちらの意図する社会保障や福祉が行われるとは限らない。今の日本の政治では特に不安である。
- ・ C-12 に配偶者を追加すべきと思う。C-18 (5) 先に職員のボーナスや給料の見直しをすべきである。国民に責を問う前に行政の無駄を考えるべきである！！
- ・ 質問が自分に合わないときの対処の所のチェック、方法がない。協力したい場合は困る。収入の件は疑問を感じる。C-18 の質問も違和感を感じる。
- ・ 問 C の 18 (5) の回答は 5（わからない）としたが、私の考えは政府は無駄な歳出を減らして、増税せずに社会保障給付は維持すべきだと思う。
- ・ 問 C-18 (5) の設問の仕方等は非常に短絡的で問題がある。こうした調査結果を基にして、政府等が税金や社会保険料の値上げの根拠とすることの無いよう、厳に慎んでいただきたい。
- ・ 問 C-18 (5) この質問のための調査だったのかという気がして、がっかりとしました。

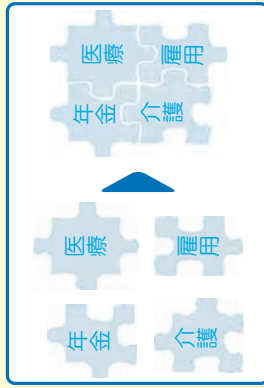
こたえのA, Bは両方とも自分の考えには当てはまらず, 選ばませんでした。公務員を優遇するあまり税金が足りなくなって, 増税するというのはおかしいです。ここの無駄遣いをなくせば増税しなくても社会保障や福祉の水準は下がらないと思いますが。

付属資料 2 経済産業研究所「暮らしと健康の調査」依頼状

1. アンケート調査の目的と背景

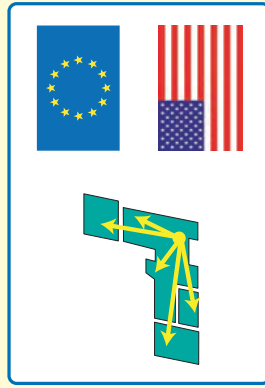


2050年の日本は、65歳以上の高齢者が人口の約36%を占めると予測され、世界でも類を見ない急速な高齢化社会が到来するといわれています。
そこで、この急激な変化に対応できる新しい社会保障システムの構築が急務となっています。



これまでの社会保障に関する調査では、年金・医療・福祉・雇用などが個別政策ごとに実施されてきました。

今回の調査は、社会保障システムの果たす役割を総合的・包括的に捉えるための日本で初めての調査です。



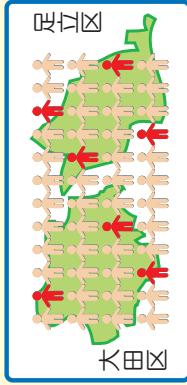
今回の調査は、東京都大田区と足立区の皆さまを対象としておりますが、今後は、全国10,000人を対象とした調査に拡大する予定です。

このような全国規模での総合的・包括的な社会保障の調査は、日本にさがかけて、アメリカやヨーロッパではすでに広く実施されています。

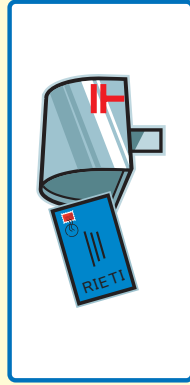


皆さまからのご回答は、新しい社会保障システムの構築に向けた政策提言の基礎データとして活用させていただきます。また、集計結果は、経済産業研究所ホームページにて公開させていただきます。皆さまのご協力が、適切な政策を推進していくための第一歩となります。

2. アンケート調査の流れについて



アンケート調査の対象者として、大田区・足立区のご協力のもと、住民基本台帳から、各区760名(計1520名)の方を無作為に選ばせていただきました。



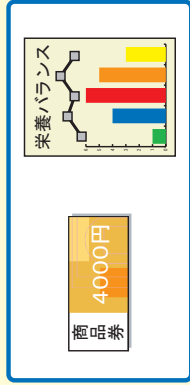
ご協力をお願いする対象者の方には①プロフィールシート②アンケート調査ご協力のお願(本状)③経済産業研究所のパンフレットを郵送にてご送付させていただきます。



近日中に、(株)流通情報センターの調査員がご自身で記入いただく調査票(30分程度)を持参し、調査ご協力をお願いにご自宅へ伺わせていただきます。



ご指定頂いた日時にあらためて調査員が伺い、口頭でのアンケート調査(30分程度)を行います。さらにご協力頂ける方にはより詳しい調査(ご都合により5分~30分程度まで)をお願いいたします。



ご記入いただく調査と口頭での調査にご協力いただいた方には、4000円の商品券をお納め頂いております。

また、栄養調査にご協力いただいた方には、結果がまとまり次第、栄養調査結果を郵送いたします。

個人情報保護について

お答え頂きました内容につきましては、すべて統計的に扱い、個人を特定したり、ご協力いただいた皆さまにご迷惑をおかけするようなことは決してございません。また、研究以外の目的にデータを利用することも絶対ございません。

(資料出所) 経済産業研究所ホームページ

<http://www.rieti.go.jp/projects/mct03-2-1/pdf/01.pdf>, <http://www.rieti.go.jp/projects/mct03-2-1/pdf/pamphlet.pdf>